

刊夕日九十

日よ、黃海邊沙院附近にて市川少將統裁の下に旅順艦隊演習を舉行する由なるが石籠戰の爲め自水軍演習の長は古坂副官を隨へ南鮮演習終了後、方も二十四日同地に而ひ二十七日歸任すべく少將と交替して秋山軍司、全官は二十七日親衛少佐を隨へ沙里院に向ひ同演習を観戰後三十日夜歸任

●**ア氏略歴** 故ニツチヂー、アンダーワッド氏の事は本紙既に報じたる如く、同氏は一八五九年七月十九日英京倫敦に生れ、原籍は米國なり、父は化學者にてジョンアンダーワッド、母はエリザベスを呼ぶ、一八五九年三月に生れ、

れつゝありしに何日となく二里所至谷  
三三の地點に鮮かに現金を持せ待  
伏せの上口貨を設け買入れを爲す事  
となり爲めに小口買入れを爲しつゝ  
ありし者の迷惑一方ならざる所あり  
依て穀物商組合長矢切範治氏に陳情  
する所ありたるを以て同氏は是れを  
業協會に關りしかば協會は一般職  
道

理事其心日昨自午三、四十餘名にして  
本主任の事業報告修了證書及賞  
状授與第部長訓辭來賓總代申辭等  
修辭了生答辭の順序を以て午後三  
時一同記念の撮影をなし来賓は  
室に於て茶菓の饗應を受け午後四  
時半解散せり  
聯合水産品評會 江原  
県農務第三分署 三陸江陵農林物産通關六  
今午

日到着せしを以て直ちに組立て  
 争ひ取體の検査をも終へたるを  
 二十一日より開通する事に決定  
 島忠四十二里は僅か四時四十分  
 差する事なれば兩地間及び其中  
 野物運搬上多大の便宜を蒙るべ  
 今藤林業技師 總督府林業技師  
 氏は去る十日より忠化林業状

蔡知し得べしと一般に豫想されたる  
 が十五日仙臺に於て開催されたる同  
 大會議上にて京畿は主要なる  
 大隈侯は政黨員にあらず其他閣  
 僚も過半以上政黨員に非ざりしに

肥料 四三、三五七  
 △輸入重要要品(圓)  
 目 十月上半 七三、三八八三  
 二、九八七 一月以降累計  
 二、一六 一九〇、七九九  
 七四、五一九  
 佐賀サツタニ氏は十九日午前十一時、  
 薩洲ニユースウスエールス政

●サ商務官訪府

●野田副總裁出發 東拓副  
總裁野田卯太郎氏は亡夫人七週忌法

二十六日株主總會を開會し第五期上半決算案を附議する由なるが何分今期同社航路は歐洲戰亂の宣明差影

の増加を示せり此内探木公司の賣戻  
を爲したるもの三千五百四十八臺百  
二十萬四千百三十五連半其買入を爲

中止 昨紙所報仁川久水府尹は天  
節祝宴を催す可く仁川紳士百數  
及

新築と共に新築せしが既に竣工  
を以て来る十一月三日立太子式  
開園満三週年記念の爲め運動會

野橋吉氏(貿易商)入京中の處十九日朝眞章  
諸次男氏(東亞總代理販賣所長)五日間の  
定を以て十七日發遣方面へ  
川友一氏 十九日午前入京古町事務所へ  
リース・レモンド氏夫妻(京城駐在米國總領  
事)十九日午前中里へ  
トシヤリ氏(京城駐在自正義領事)同上

野國一氏(綿布會社重役) 十九日歸入京朝  
ホテル( )  
磯崎太郎氏(鐵南浦田菜豆會所會頭) 二十  
朝入京浦尾(投簡)等  
井佐一郎氏(平壤赤城銀行支配人) 入京中  
爲十七日夜返京

新築と共に新築せしが既に落成  
を以て来る十一月三日立太子式  
の開園満三週年記念の爲め運動會  
初園にて開催の筈

二十四日より二日間成勲公立小學校にて開會の筈▲保育園記念  
地保育園は狹隘となりたる決果本

二修科に在る迄希望に依り注  
つる事となり募集したるに約二百  
あり十八日午後執行せり又大田  
者にては一般に對し無料及び有料  
十七日主村を執了したり▲要後

大田  
豫防注射  
小學校にては一學年以上補  
大田縣常務等

倉富長官兼職

二十八九日頃を以て文武官定期  
勲ある可く第十七師團長陸軍中將  
町金吾氏は勲一等に叙せらるべし  
東京電報

文武定期叙勳  
 和にて申曉稻とも十分の穂りを  
 しなれば昨今稻刈の最中にて勞働  
 著るしく高騰せり

十分にて此具合に進まば連も十  
の作は素より六分作位の見當にて  
眞著るしく高騰し例年の倍價を稱  
召れり▲農繁期に入る 連日の好

燠因作はく 晚夏ばんか 過度かど の降雨こうう に妨さまたげら  
 種くさねの好期こうきを逸あやせる大根だいこん白菜ばいさいは  
 後あと又また旱魃かんぱつの爲ためめ十分じふぶん發育ふくする能あたは  
 之これ之これ今いま温度おんど急いそに下降じやうかせる爲ためめ生せい

二時北行列車にて歸府。大根白  
 忠南荒廢山野、燕岐郡殖林地を見  
 九忠北林業、技手と共に鳥致院に  
 石丸忠北林業、技手と共に鳥致院に  
 観察中の處十七日各地の調査を終  
 藤氏は去る十日より忠北林業、

鳥忠間二十二里は僅々四時間内  
均著する事なれば兩地間及び其中  
荷物運輸上多大の便宜を蒙るべ  
今藤林業技師 總督府林業技師

八日到着せしを以て直ちに組立て  
着手し車體の検査をも終へたるを  
二十一日より開通する事に決定



### 景氣付いた朝鮮の鑛業界

分析試験で忙し中央試験場

朝鮮の鑛業は、分析試験で忙し中央試験場。分析試験の結果、本年四月から九月までの試験結果は、前年と比べて、鑛物の生産量は、約二倍の多量に上つて居る。鑛物の生産量は、前年と比べて、約二倍の多量に上つて居る。鑛物の生産量は、前年と比べて、約二倍の多量に上つて居る。

### 仁川の停車場に米の山

米の山の需要高一年間十萬圓

仁川の停車場に米の山。米の山の需要高一年間十萬圓。米の山の需要高一年間十萬圓。米の山の需要高一年間十萬圓。

### 眞珠潭へ眞逆様に

中村林士金剛山中に惨死す

眞珠潭へ眞逆様に。中村林士金剛山中に惨死す。眞珠潭へ眞逆様に。中村林士金剛山中に惨死す。

### 二千圓棒に振

金に困つた朝鮮の鑛業界

二千圓棒に振。金に困つた朝鮮の鑛業界。二千圓棒に振。金に困つた朝鮮の鑛業界。

### 大正の阿波鳴門

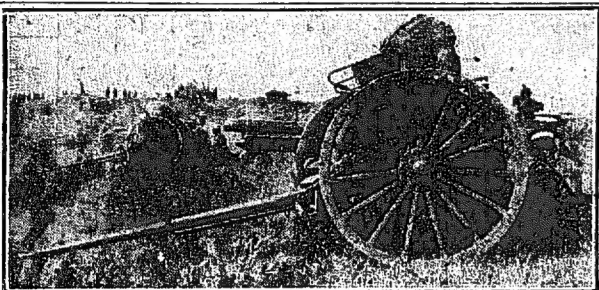
二十餘年間實父を捜ね廻る

大正の阿波鳴門。二十餘年間實父を捜ね廻る。大正の阿波鳴門。二十餘年間實父を捜ね廻る。

### 學生風の曲者

他人の愛を求めんとす

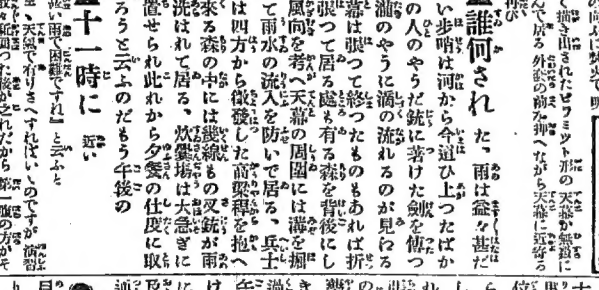
學生風の曲者。他人の愛を求めんとす。學生風の曲者。他人の愛を求めんとす。



### 雨の露營

余話の懐中電燈

雨の露營。余話の懐中電燈。雨の露營。余話の懐中電燈。



### 誰何された

雨は盆を越した

誰何された。雨は盆を越した。誰何された。雨は盆を越した。



### 支那小兒殺害

支那小兒殺害

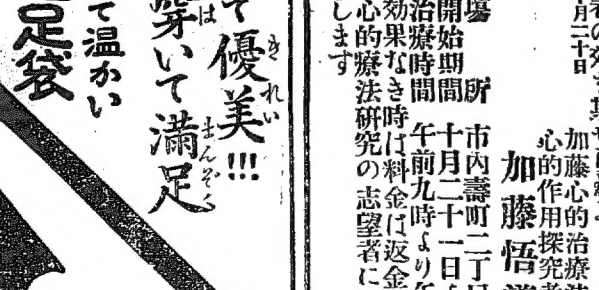
支那小兒殺害。支那小兒殺害。支那小兒殺害。



### 尼介女

支那小兒殺害

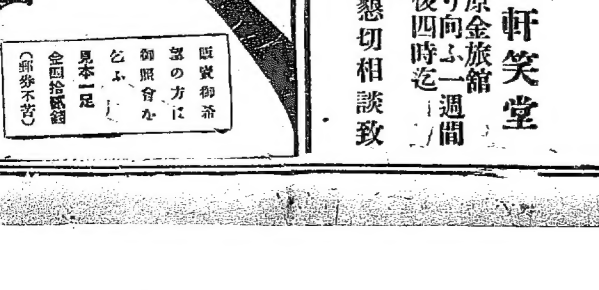
尼介女。支那小兒殺害。尼介女。支那小兒殺害。



### 鬼足袋

鬼足袋

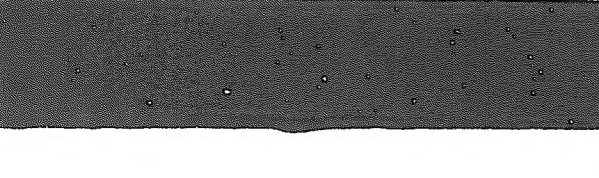
鬼足袋。鬼足袋。鬼足袋。



### 花火

花火

花火。花火。花火。



### 秋大賣出

秋大賣出

秋大賣出。秋大賣出。秋大賣出。



### 秋大賣出

秋大賣出

秋大賣出。秋大賣出。秋大賣出。



### 秋大賣出

秋大賣出

秋大賣出。秋大賣出。秋大賣出。





觸手を強める様な、水道、通信事務、鐵道等の如き直接日常生活に必須な利便を普及する様な趣向を凝らす

本年は學徒に隣接した鮮人部落が虎  
疫流行の最も猖獗を極めた土地であ  
り、且つ矢野敏敏が不幸にも同病に冒  
され、其の秋季の各學校聯合大運  
動會と共にニ川デとして盛況を極め  
た展覽會も遂に無期延期の止む  
無きに至つた。例年ならば藝藝手藝  
入佛式の賑ひ

落成の元山法秀寺

元山法秀寺は今朝、建築全く成るに  
及び西木山より釋迦如來並に諸祖大  
師諸大師の尊像到者につき風俗かに  
波瀾がなる十五日をとし、入佛式及び  
開堂式を舉行せり當日午前九時頃と

落成の元山法秀寺

落成の元山法秀寺

京城本町電話八九〇番

京橋本町電話八九〇番

を十三道に求めたる作品多數陳列す

を十三道に求めたる作品多數陳列する由

○横山彌三氏（西大岡小學校長） 十九日  
學事視察の爲り三府及び兵庫縣に出でせり

△會のいろく▽

附錄

○曹洞宗別院(若草町) 二十日午後二時  
○天理教(旭町二) 十九日午後二時より教

土曜館あり、例に三十三日よ、二十八日まで  
懇請ある由

**◆資産家逃げ出す**

家族三十二名を伴れて  
摩訶池にては追脱よりコレ連者城兵共其  
にて殿軍に轉渡の處數日間同洞の美産家三

財あり其の有衛を嚴採中の所北溪山北城に

開あり其の行轡を嚴禁中の所北深江西北西に  
 き家其一切を抛へ食料器具他も用意し京畿  
 貴族の所有なる樂器を借入れて全部起廻しと  
 れることを發見したるが何れも豊臥なしと  
 其とは所詮の照した中てなく皆てはば  
 方正清純上等と其に思ふ可く

の一敵手てきしゅの戮せりふにあつた位である然

部に就く。おれは、  
村に於らん  
時、健康だ。  
この水質を  
と自覺し  
る。と自ら  
を飲料大學  
するに五つ  
のやうで

の「敵手」の親あつた位であつた。然し、  
此等運道に恵まれた處では、少しも  
接合して財を蓄へるに依り得ず、  
て取立てて大に困窮した。彼は、  
才手晩年、病に臥し、離れて公家  
のために謀るのである。その公明正  
なる態度が持ち上るべきである。

ざるため急  
る豪快な行るにつけて思川す

と云ふ途  
ては橋本亞  
桑取引係並  
に歸り其牛  
に決した  
に依り大賑  
三小山彦  
在當時を退  
能はず向に

和興一君である天王寺の邸に在つた  
聖飴饅頭のなかに苦心してめらめら  
と綴りし會社の内容に就て配され  
たあつた。今此會社が盛運に向は  
れ、投込の大儲けとなすを自くは欲  
せず、在當時を退ける能はず向に

...

[illegible]

三、九日、前濱町、川島川、合流するも、押し買物多し、九十六鎰と跳ね返りたるが戻りは又買物多く再び八十八鎰と押し九十二鎰と、大混戦裡に依て散会

(四)

一、飯強弱肥なりと雖も相違は比較的小  
落付線粒を呈し居れり其後ザリヤ小  
粒り氣味なるは貝ペンダー桃色紅等  
の一部品藥物のみにて之等の中には  
鱈魚肝油と云ふものあり

▲中財 十二圓四十五錢六錢五錢六錢  
均價四十五錢 五十九錢五十二錢  
五五錢二錢平均價五十二錢 五十二  
錢出來高二千五百五十石

●綿布相壞好調

●**綿布・柵・垣・好調** 阪大  
綿布相場は昨入銀十餘萬の體・十六  
四十七錢五厘を報じ在荷額に加以へ  
米高・操高等の動搖に更に擴張様なる  
が如し

●**海草類の奔騰** 草毒  
期は既に上述步調なるが就中御物  
海苔は昨今内地在荷としてより、鮮魚  
を除き殆ど品切状態なるより、勢い高  
値を叩へ角又長角の又も品割れにて上  
等品を賣る者も漸く出づるに及ぶ

て倍額の相場奔騰が現出せりといふ

て、船額の相場空騰を現出せりといふ  
●生果類稍引立 果生  
類は引換き可成り買氣を進め居りけ  
尤も入荷の多からず一隅僻もあるか  
時に比しては需要の方面も多少引  
立ち來けり本日到着の三波津梨は上  
物一四三十錢にて用果せり

丈の成りきを呈せるが新米明し飽み  
之れからにて底意先安を見透されつ

平澤白米 八〇畝 平澤白米二五畝  
 平澤玄米一〇六畝 平澤玄米九五畝  
 平澤玄米一八九畝 金村白米二七畝  
 平澤玄米一八八畝 金村玄米一〇畝

南大門の廻轂

女の成り行きを呈せるが新米屋に賣つ  
 之れからにて底意先安を見透されつ  
 がある折柄何となく仲力の語は難さ  
 節あり

## 仁川現物市場

仁現物市

△種 入津約二千俵  
氣配大阪期正米高に越れ惜高人氣  
△正米 入津中道上来五五十鈴川津  
氣配は落付たると同時に多少高  
人氣を明へ居れり  
△大玉 入津なし  
△小麥 入津なし

種薄にして賣り物の大部分は新米の  
かこして直に出廻り増加の類は日本

●仲買店

三川米豆取引所仲買人  
まるにち

商議に應ずる状態なれば底意軟弱を示し相場は十圓安となれり

内閣に連なる状態なれば威容軟弱を  
示し相場は千鎊安となり  
大立 出起り品相絶にあり買入も  
亦多し然れども何故本邦よりの買注  
次第し債安き爲め相場は依然として  
便宜の状態でなし  
新百二十六百五十一個、安七百八十個、  
新百六十二個、小五五個、大豆六百  
新十四個

仁川期米

前寄十五圓五十錢

と昨止より十八錢高の  
入電二節四十錢三  
節五十一錢の移りて  
出米不申中十二圓四十五錢より五十五  
錢と上伸し二錢引先十一圓九十六  
錢と十四錢高に寄付一步五錢と云り  
たに値れに漸 忽ち十二圓  
丁度と弗驚したるが利便に

二十三 録と安移九十録と押

[illegible]

**質**

永樂町(傳習所北入)  
堀佐營業所  
(電話六三九六)

**代の君を赤毛**

東京市淺草區藏前片町町  
本舖  
電話二九三八  
支店東京一九三七八

**皇赤毛を君の代**

品質も評判も發行も  
一番よい  
あらに染君が代  
何が故に一番よいか  
染方手帳  
毛髪を直し  
毛髪を直し  
髪色よく染す  
好評あり別製君  
が代は被体にして  
使用方一層便利なれば  
是非一度試みるを願ふ  
本品は至る處の有名髪  
店化粧品店にあり

定 別型二八  
特型二八  
小四十五

**盤球圍**

紳士も婦人も高尙て面白  
い大流行の快活の遊  
戯はコレ

元一發

**又相馬榮治**

東京中日本橋區錦町一丁目番地  
取引所仲買人  
電話 長四六〇 二四六二  
浪花 二四六一 二五九九  
金銀文信等下クイマタ  
總業案内送呈

**解雇廣告**

店員 佐々木十太郎  
本月十日外出歸宅致し中候に付同時  
に解雇仕候間所屬本店と關係無之  
開念の爲め概し上りて廣告候也  
大正五年十月十日  
京城南山町三丁目  
秋吉富太郎

米國紐ギスタンダードベイント會社製

最上毛製屋根葺用

京坂本町三丁目電話四五番二七四番

朝鮮總代理店 藤村本藤次郎本店

振替貯金口座京坂二五六番

**皮**

より強い値の安い

**柳製專賣品靴**

△二枚續き毛布 △ふとんわた

△魔法瓶中瓶取替

靴製造販賣 旅行用具一切

京坂本町一丁目 電話一三四番

高木旅行用具店

き長 二尺四寸 二尺二寸 二尺

**内科**

胃腸病

診察時九夜

京坂本町一丁目

**有川醫院**

電話 二七九〇 二七九一 二七九二

帝國製麻株式會社製品

東洋木材防腐株式會社製品

京坂府龍山元町三丁目五十七番地

朝鮮特約販賣店 **村松武八商店**

電話 二六番

**營業** 麻、綿、ズック、ダック類販賣

**種目** 和洋麻綿毛織物及製品、織造貨車用捲掛負、天幕、雨覆製作荷負、並にズック製作品一式

特許品木材防腐劑 東洋木材防腐株式會社製

クレオソリウム クレオソリート

だつちやうをなほすきかい

**■脱腸短正器**

御入用の方は腰廻り寸法並に 左右の別御しらせ被下度候


京坂本町一丁目五一

高野義手足製作所

「内外各處に實用せられ 効能最も 越せるは本劑なり」

**醫學目藥**

堂録



商標

大坂北橋店 丁目

**房藥堂天參**

通賃金十廿貫、郵税二錢三匁、郵税四錢、大頭五十錢、郵税六錢、各埠發售、在り

大學目藥は帝國醫科大學附屬の處方に基きし、重の劑にして、●はや

●目●星●ト●ホ●のぼせ目●被目●其外眼病一切に驚べき効能

あり●十歳以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり

京坂本町二丁目（瓦町會社向側）

**内科**

小兒科

**芙蓉醫院**

醫學士 森定吉

電話 二六三三番



宮本武蔵

第九十一回

浪上義三郎記



此方は義三郎の二天の一人、赤松の道場を飛出して城外まで逃げた。...

演藝案内

浪花館

東都女流演劇界の大明星、...

大正館

御成座

有楽館

初日以來連日満員

下郎の淀平

大正館

黄金館

婦人化粧の化粧

二三歳頃... 化粧の必要は、...

六七歳頃... 化粧の必要は、...

十三歳頃... 化粧の必要は、...

十六七歳頃... 化粧の必要は、...

廿二歳頃... 化粧の必要は、...

廿四五歳頃... 化粧の必要は、...

三十歳頃... 化粧の必要は、...

四五十歳頃... 化粧の必要は、...









# 段國務總理の面目

## 再び外交總長案の否決

段國務總理の面目は、外交總長案の否決により、ますます暗黒した。段は、外交總長案の否決に、大いに失望し、その責任を、外交總長に押しつけた。段は、外交總長を、外交總長に押しつけた。段は、外交總長を、外交總長に押しつけた。

# 羅軍國境に敵を撃攘す

羅軍國境に敵を撃攘す。羅軍は、國境に敵を撃攘す。羅軍は、國境に敵を撃攘す。羅軍は、國境に敵を撃攘す。

# 李元用伯一行著京

李元用伯一行著京。李元用伯一行は、著京。李元用伯一行は、著京。李元用伯一行は、著京。

# 川村元帥歸東

川村元帥歸東。川村元帥は、歸東。川村元帥は、歸東。川村元帥は、歸東。

# 秋山軍司令官

秋山軍司令官。秋山軍司令官は、秋山軍司令官。秋山軍司令官は、秋山軍司令官。

# 哈爾濱と米

哈爾濱と米。哈爾濱と米。哈爾濱と米。哈爾濱と米。

# 大阪たより

大阪たより。大阪たより。大阪たより。大阪たより。

# 日露連絡運輸

日露連絡運輸。日露連絡運輸。日露連絡運輸。日露連絡運輸。

# 京城の街路樹整理計畫

京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。

# 哈爾濱より

哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。

# 全南の米と棉

全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。

# 上海鮮魚收入

上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。

# 新築小學校起工

新築小學校起工。新築小學校起工。新築小學校起工。新築小學校起工。

新築小學校起工。新築小學校起工。新築小學校起工。新築小學校起工。

京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。

哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。

全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。

上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。

新築小學校起工。新築小學校起工。新築小學校起工。新築小學校起工。

京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。京城の街路樹整理計畫。

哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。哈爾濱より。

全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。全南の米と棉。

上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。上海鮮魚收入。

道案空架(式)チリハ 告廣却賣安格

呈送會明明次第一御は方の望希御

子王京東 部物金社金ラ洋東 (附五話電)

附屬完備

長一哩

ワイヤ

分七経

毛布

移轉御披露

今回都合に依り左記の處へ移轉仕候信舊の御引立奉願上候

大正五年十月

京城府本町一丁目五十五番地

古川鐵業所

所主 古川鐵業所

電話 二五五六番

製天

新製金

着有金

新製金

着有金

新製金

着有金

日鮮人向

漆器箱

卸

丸五漆器

電話 二五五六番

日鮮人向

漆器箱

卸

丸五漆器

電話 二五五六番



何なんから何なんまで内うち地ぢ育よくちと見み違ちがへるや

まろで内地育ち。宋秉燮子の家庭。  
(右)家庭教師氏宗安史(中央)姉富子嬢、妹智恵子



不義の露顯を懼れて  
繼人の復母を殺害す

2. 所計

敵軍も門を破つたは

● 投<sup>ス</sup>る

防府西成郡傳法町生れ齋藤謙

る 隙

佐賀縣東松浦郡北波多村生れ  
河北郡新浦面土城里居住の

動脈を

暑の留置場に打込まる

22

乗込んで居つたが何  
羊取と客上

六月

能々二十六日大邸

い 丈 甚

但シ盡食  
帝王

は特にお  
フア  
京城

軍人會  
東京分會

2

卷之五

100

河南道燕岐郡全義西新井里二統てんめいしちやう  
 慶事督二くわんじとくは十四日天安市樹

簡開  
り法

雄又は安坊文一事國分與曾吉

分とれ

◇横目で睨んで

いのに  
台夫人

先づその道の達者、出世の神  
てんじん 兩人を天秤にかけて、さて

以てても創  
自出度

卷○舊○劇○鞍○馬○八○郎○  
海○兵○會○爭○留○別○

元代御膳  
味線奈奈

見



大



大坂土下

[illegible]



渡邊默禪

A dark, grainy, high-contrast black and white photograph. It depicts a person, possibly a dancer or acrobat, in a dynamic pose. The figure is mostly obscured by deep shadows, with bright highlights defining their limbs and form. The background is dark and textured, suggesting an outdoor night scene or a stage with dramatic lighting. The overall quality is poor, with significant noise and a high level of contrast.

方々のやうに年が年中著た因循ぢや  
るゐるやあしねわ。おい、もつこ此方の  
明るい方、連れて来な<sup>う</sup>。

月明りの方へ後からだい、押出  
された二人の女は、極度の神経が昂  
奮したと見えて、はッ／＼元を呼  
喚が耳立つて聞えた。膝から下に力  
が無くなつて膝齧りしてゐた。そし  
て這るやうに地上に脚蹴められた。

「あッ／＼あッ／＼」

始めてその顔を見た親方は愕然  
として目を圓くした。生摘つた腋の  
一人は今様の秀子、一人は女中のお  
孝であるではないか。

【俳諧散心（第十二回）】

襖窓に隔あり疎林に隔なく  
朝寒を乳飲みこぼす懐かな  
く秋櫻を春潮時を縫ひつづく

園すへて人去ま川の中洲哉  
寫紅葉エプロン半路荒哉  
乳牛の數より牧場朝寒し

頂上や草々の紅葉南洲塔  
園鳴くや幹太ふと二本松  
秋櫻や園人は黙し鐘籠も

園置くや沼に映りて聲高し  
岸の炊く白煙や朝寒し

子 亭 舟

●わきがの爲めに其人の成功を

非常な不愉快なり見かけは立派だが實際の其うでないのは恐らく人々を金庫に通り亦然り勢い正道を人々が歩みずるのを止を得ないアスファルト道を敷かなくとも時々土位は通て主權快にして貰ひたい腰辨生▲▲▲  
向の雜音中を密々と牛車を曳いて行くには危險千萬歳の嫌なものも時間限つて通行を許したら好からぬぞ(散歩子)▲世社主權で元山方面の町を散歩をやつて下さい(旅行狂)▲海濱の真紅館のお茶子の横着女なのは驚くべき行度によつてやりたく思ふ云々  
▲廣別荘も大分火になつたやうな家族組▲京都の運動家諸君が馬場幸に使用人の士氣今や如何天高馬肥▲  
在るなる此の好季に活動家の拜耳氏に於ける第二野次團▼▼▼  
庭で開城の架拾をやつて下さい(平町の少女)▲▲▲  
▲▲▲貴家貧の直下門前へ何時かの間にか壁が低くなつたやうな之れだから證書の目的は何時も取らないタイク云つて置ても直ぐやめるなら一切云はねのが(冷笑)

助け

# 猫イラズ


定價  
 大罐 金壹  
 中罐 金五  
 小罐 金十

猫イラズを鼠が食べると腹の中で  
 なるやうになりて活けるをみな燃  
 してしまひ其死んだ鼠はかたくり  
 決して腐りませぬ此の薬は誠に  
 思慮によくきく薬物へ内務省でも  
 認許に誰でも買れる標になりまし

●檢物あり猫イラズの商標に御注意  
 東京日本橋區本町四ノ七  
 發賣處 成毛商店  
 電話 長四六八二  
 振替口座東京一九三六七

農商務省農事試験場及眞實講習所  
**實驗有功御證明**  
 各府縣支事試驗場長眞實効力確  
 各府縣支事同業組合眞實効力確  
 證よりはたら  
 不思議の原とも薬

風


**現代最善の梅毒**  
 當研究所苦心  
 應用劑は左の  
 服み易き内服劑に  
 なれども身體には害  
 遠隔自宅にても秘密  
 こゝを得て時間と金  
 傳染初期の梅毒は機  
 部限りで自分で安ん  
 一度でも梅毒に罹つ  
 居る黴菌の種を絶滅  
 慢性で治療に苦し  
 部の治効目に見えて  
 當研究所は秘密を嚴守し  
 東京市本所願

||

毒・麻・病・自・宅・療・法  
 發表の藥化學  
 新權威を有す  
 て病毒に對し効力強烈  
 も障害なし  
 に完全なる治療をなす  
 錢に於て經濟なり  
 疫も出ぬ内に迅速に局  
 に治滅さる  
 た人の體內に潜伏して  
 居る人でも一日毎に患  
 完全に治る  
 小樽町三八  
 藥化學研究所  
 振替東京四九六番電話四七二

新  
刊

[illegible]

本町四  
仁川代理店

[illegible]